総務文教 常任委員会

委員長
大山美智子
副委員長
池井　光吉
委員
黒澤三千夫
小島　正泰
影山　琢也
沼上　政幸
小林　國章

熊谷市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例について

問　今回の改正で、旅費として新たに支給対象となる項目や、逆に支給されなくなる項目が生じるのか伺いたい。

答　鉄道賃、船賃、航空賃等は現行どおりであるが、車賃はバス、タクシー、レンタカー、自家用車等を含めたその他の交通費に変更となる。そのほか、日当を廃止する代わりに、宿泊を伴う場合は宿泊手当を支給する仕組みになる。
（職員課）

熊谷市星渓園条例の一部を改正する条例について

問　星渓園について、教育委員会の管理であることを明示した上で、教育活動やまちづくり活動と連携した地域の魅力向上に資する催しなどを対象に減免規定等を設けて一層の活用を推進するとのことだが、具体的にどのような催しを想定しているのか伺いたい。

答　教育活動として、学校や市民団体と連携した歴史・体験学習、文化・芸術の発表など、子供や若者の学び・活動の場を提供するイベントのほか、まちづくり活動と連携し、地域の魅力向上に資する催しとして、地元の歴史、伝統文化等の紹介、地域資源を活用し魅力を発信する企画、さらには、今年度、社会実験を実施したガーデンカフェに加え、アートイベントやライトアップ、フォトコンテスト、季節の祭事など、にぎわい創出と町なかの回遊性向上を図り、観光客の誘客に寄与する催事などを想定している。
（江南文化財センター）


星渓園

令和8年度熊谷市一般会計予算（総務費、消防費、教育費）について

問　消防水利整備事業について、消防水利の充足率向上を図るとの説明があったが、消防水利の充足率は現在どのような状況にあるのか伺いたい。

答　消防水利の充足率については、令和7年度の調査で78・9％となっている。推移を見ると、令和元年度の調査で77・7％、4年度の調査で78・2％となっており、充足率は向上している。
（警防課）

問　第3次総合振興計画策定事業について、令和8年度に市民意識調査を実施するとのことだが、どのような方法を考えているのか伺いたい。

答　市民意識調査の実施方法については、現在も実施しているまちづくり市民アンケートと同様に、18歳以上の市民から無作為に抽出した3000名に対し、郵送とインターネットを併用したアンケートを実施する予定である。また、第2次総合振興計画の後期基本計画策定時に導入した高校生アンケートについても、引き続き市内の高校へ依頼の上、実施していく考えである。
（企画課）

問　北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業について、新庁舎移転に向けたオフィス空間の実証実験をどのような手順で進める予定なのか伺いたい。

答　実証実験については、今年度から企画課および北部拠点整備推進室において開始しており、業務内容に合わせて働く場所を選択できるスペースとしてファミレスブースや個室ブース、昇降デスクなどを設置したところであるが、令和8年度には、新たにボックス型のミーティングブースを追加した上で予約制とし、全庁的に利用可能とするなどして、業務内容に応じた職員の働き方改革に向け実証実験の範囲を拡大していく予定である。
（北部拠点整備推進室）

令和7年度熊谷市一般会計補正予算（教育費）について

問　小学校および中学校体育館空調設備整備事業について、すべての空調設備をガス方式とした理由を伺いたい。

答　小・中学校の体育館に設置する空調設備にガス方式を採用した理由は、ガス管が地下埋設物であるため災害の影響を受けにくく、また、ガスバルクタンクは、燃料を貯蔵しておくことで災害発生直後でも電源の確保が可能であり、インフラの寸断に左右されないという点が最大のメリットと考えている。
（教育総務課）

市民福祉 常任委員会

委員長
臼杵　健
副委員長
田中　正
委員
福田　勝美
三浦　和一
桜井くるみ
権田　清志
千葉　義浩
出井　哲司

熊谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

問 賦課限度額の改正による影響世帯数と、影響世帯の特徴を伺いたい。

答 影響世帯数は、令和8年2月末時点で、基礎課税分が272世帯、後期高齢者支援金等分が262世帯である。影響世帯の特徴は、収入の多い世帯ということになり、単身世帯でシミュレーションすると、給与収入および年金収入で約1186万円の方が賦課限度額を超えることになる。
（保険年金課）

令和8年度熊谷市一般会計予算（民生費、衛生費）について

問 後期高齢者健康増進事業について、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施とあるが、この事業をどのように展開していくのか伺いたい。

答 これまで市の保健師が、ニャオざね元気体操などの通いの場に出向き、フレイル予防の普及啓発を行ったほか、令和7年度は、地域包括支援センターなどと連携し、健康状態不明者宅への訪問を行った。令和8年度は、新たに口腔に関わる相談、指導や、シルバー人材センター講座を活用したフレイル予防を計画しているほか、生活習慣病の重症化予防に関する対象を広げるなど事業拡大を計画している。
（保険年金課）

問 保育所管理運営経費について、令和8年度の予算額は32億7947万4000円で年々増加傾向にあるが、少子化にも関わらず増額が続いている要因を伺いたい。

答 保育所管理運営経費は昨年度に比べて約4億2500万円の増額となっているが、このうちの3億4100万円が公定価格の増による児童福祉法第24条委託料の増で、ほかの要因として石原保育所の解体工事費や保育所のICTシステムの委託料、中央保育所の給食委託による経費の増額などがある。
（保育課）


中央保育所

問 予防接種事業について、RSウイルスワクチンの接種が新たに加わったが、ワクチンの内容とメッセンジャーRNAタイプか不活化ワクチンなのか伺いたい。

答 令和8年4月1日から定期接種となるRSウイルスワクチンは、妊婦が接種することで母親の体の中につくられた抗体が赤ちゃんに移り、生まれてからすぐ赤ちゃんをRSウイルス感染症から守ることができるもので、28週ゼロ日から36週6日までの妊婦が接種の対象となる。定期接種で使用するワクチンは、不活化ワクチンのアブリスボである。
（母子健康センター）

問 全国健康福祉祭開催事業について、今年開催されるねんりんピックに対してどのように市やボランティア団体が関わっていくのか、また費用の総額と市の負担額を伺いたい。

答 市職員やボランティアの主な仕事は、選手団バス等の輸送交通支援、各県選手団の受け付けのほか誘導や環境美化などである。次に費用の総額は5566万4000円を予定しており、そのうちの市負担金が2100万円である。
（長寿いきがい課）



令和8年度熊谷市国民健康保険特別会計予算について

問 国民健康保険税の改正が行われるということで、1人当たりの平均保険税額は、令和7年度と比べてどのくらい上がるのか、また令和8年度が幾らになるのか伺いたい。

答 令和8年2月末の令和7年度賦課データによる試算で、1人当たりの平均保険税額は16万775円となり、前年度と比較して1万3649円の増額となっている。
（保険年金課）

環境産業 常任委員会

委員長
田中　純一
副委員長
小林　拓朗
委員
大久保照夫
須永　宣延
腰塚菜穂子
白根　佳典
江田　大助

事業契約の締結についての変更について（（仮称）道の駅「くまがや」整備事業（その1）及び（その2））

問　今回の増額の契約を踏まえて、この長期契約のリスクをどのように今後考えていくのか伺いたい。

答　ＰＦＩ事業は長期契約になることが多く、その部分でのリスクで考えると、ニーズなどの変化があったときに急な方向転換ができないという部分があると考えている。ただ、道の駅に関しては、15年間の中で、道の駅はいらないということにはなりにくい施設だと考えており、右肩上がりで成長できるような施設にしていきたい。
（道の駅整備室）

令和8年度熊谷市一般会計予算（衛生費、農林水産業費、商工費）について

問　農産物ブランド化推進事業について、昨年度の当初予算と比べて、委託料が約３５０万円増額しているが、その理由を伺いたい。

答　令和7年度から本格的に「晴れまち」ブランドがスタートし、事業も順調に推移していると認識している。

８年度はブランド推進のための商品開発、企画推進のための講義、あるいはワークショップ、伴走支援、事業者間のマッチングの企画支援や開発支援を行う予定であり、さらなる認知の拡大等を目指すため増額したものである。
（農業政策課）

こころ、晴れる、モノ語り
晴れまち

問　観光振興事業の改修工事請負費について、妻沼聖天山境内観光トイレの改修費ということだが、それほど古いようには見えず、１５００万円の予算額は多いのではないかと思うが、詳細を伺いたい。

答　このトイレは１９９５年に建築されたもので、見た目はほとんど劣化していないような状況だが、熊谷市個別施設計画において予定されている大規模修繕工事の要否を調査した際に、バリアフリーのトイレがオストメイト対応になっていないこと、手洗いの水栓が自動になっていないことへの指摘から、今回改修工事を行う予定である。また、アスベストが含まれているとの調査結果が出たことから、その対応の工事、処分を含めて金額が高くなっている状況である。

問　荻野吟子知名度向上事業について、こちらの委託料は何を想定して計上しているのか伺いたい。

答　シンポジウムを企画しており、その会場の設営委託、また、スタンプラリーの実施も検討しており、その運営の委託を考えている。
（商業観光課）

問　アライグマ・ハクビシン防除事業について、令和８年度から市内の空き家を所有する方についても補助対象にするとのことだが、対象を広げた背景、また、このような形で拡充することで見込める効果について伺いたい。

答　背景として、空き家への防除相談が複数件寄せられていることがある。また、空き家は管理が非常に難しく、そういったところにすみつかれてしまうと空き家でない場所をいくら駆除したとしてもなかなか減らないという状況にあるので、繁殖場所を減らす効果が期待される。
（環境政策課）

問　旧妻沼清掃センター除却事業について、令和８年度はどのような事業内容でこの約７２００万円という予算額になるのか伺いたい。

答　今年度、旧妻沼清掃センターの除却が終了し、令和８年度は、収集した廃乾電池や廃蛍光管等の有害ごみを処理先へ搬出するまでの一時保管施設であるストックヤードを整備する計画になっているので、その整備工事を行う予算となっている。
（環境美化センター）

令和7年度熊谷市一般会計補正予算（農林水産業費）について

問　認定農業者支援事業について、今回の補助金はこちらから申請書類を郵送する、いわゆるプッシュ型によるものか伺いたい。

答　認定農業者、認定新規就農者等はリストで把握しているので、４月早々にプッシュ型で送付する形を考えている。
（農業政策課）

都市建設常任委員会

委員長
石川　広己
副委員長
林　幸子
委員
富岡　信吾
山下　一男
新島　一英
川田　勝巳
山本　絢女

令和8年度熊谷市一般会計予算（土木費）について

問 （仮称）樋春地区産業団地整備計画検討・調査事業について、昨年度の調査内容と今年度に実施する調査内容について伺いたい。

答 令和7年度は、農林協議に必要な資料作成、江南第5水源井の移設に伴う移設先候補地の揚水試験調査、また見込まれる産業団地整備後の不動産鑑定評価を実施した。8年度は、都市計画変更等の法定手続に必要な協議資料等を作成するほか、7年度に引き続き、江南第5水源井の移設に関係する江南浄水場等の施設整備に要する各種設計業務を実施する予定である。
（産業拠点整備室）


江南第５水源井

問 道路空洞調査事業について、八潮市の陥没事故もあったが、予定している実施路線と場所および選定理由を伺いたい。

答 令和8年度の調査予定箇所については、地下埋設管が存在する緊急輸送道路2路線、約0・57キロメートル、また、熊谷駅正面口周辺の主要道路で下水道管が埋設されている11路線、約2キロメートル区間の調査を予定している。また、調査路線の選定に当たっては、交通量の多い幹線道路や災害時の緊急輸送道路、特に下水道管が埋設されている道路を中心に選定を行っており、加えて維持課から陥没のあった箇所なども聴取して決定している。
（管理課）

問 都市空間情報デジタル基盤構築事業について、どのように利活用していくのか伺いたい。

答 浸水をしたときに、どのように避難するかのシミュレーションや、中学生を対象に3D都市モデルを使って、まちづくりのシミュレーションを行うなど、図面として整備するだけでなく、いろいろなシミュレーションに活用して、まちづくりを可視化していくことを目指している。
（都市計画課）

問 熊谷運動公園子供広場整備事業について、日陰設備を設置するとのことだが、どの場所にどのような設備を設置するのか伺いたい。

答 備品購入費については、じゃぶじゃぶ池で水遊びする部分に近接した場所に、サンシェードと言われるタープのような屋根による日陰ができる設備を設置する予定である。また、工事請負費については、その外側にある植え込み部分等を休憩に活用できるように整備を計画している。
（公園緑地課）


熊谷運動公園内のじゃぶじゃぶ池

令和8年度熊谷市水道事業会計予算について

問 配水および給水費の調査委託料7008万9000円について、具体的にはどのような調査を行っているのか伺いたい。

答 漏水調査業務委託により、機動的漏水調査と計画的漏水調査を行っている。機動的漏水調査は、市民などから漏水の通報を受けた後に、委託業者が現地で音聴調査などを行って漏水箇所を特定するものである。計画的漏水調査については、地表に現れない地下漏水を特定するものであり、調査方法は、人工衛星から地表に向けてマイクロ波を発信して跳ね返ってきた波の特性の違いを捉えた画像データを解析して、漏水が疑われる箇所を特定していくもので、AIによる衛星画像解析により半径約100メートルの範囲で漏水想定エリアを抽出することができる。その後、現地で漏水音を探知する路面音聴調査や、給水管や止水栓に音聴棒を当てて漏水音を探知する給水管音聴調査などを組み合わせながら、地下漏水の箇所を特定していく。漏水については、可能な限り早期に発見できるように取り組みを進めている。
（水道課）